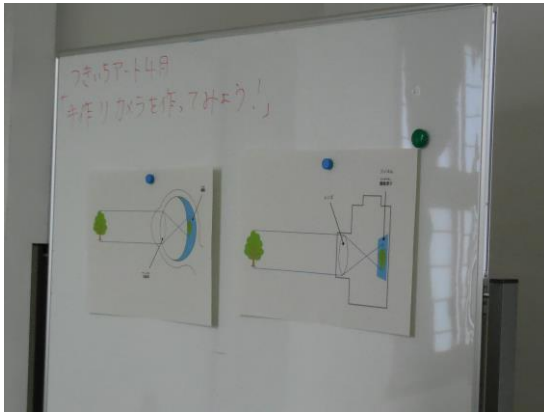




収蔵作品展「光の表現—日本画、洋画、工芸から—」では、“光”をテーマにたくさんの収蔵作品の中から作品を選出し、展示しています。

## つきいちアート4月 手作りカメラを 作ってみよう！報告

2017.4.8



まずは目の仕組み、カメラの仕組みを勉強



慎重にカッターで切っていきます

まずは、カメラ作り！持ってきた牛乳パックを使い、カッターやハサミを使って作っていきます。周りに黒い画用紙を張り付けて、虫眼鏡を取り付けると…  
手作りカメラの出来上がり！

手作りカメラを窓の外に向けて覗き、牛乳パックを動かして焦点を合わせると、外の風景が逆さに見えます！これには、大人も子どもも（取材に来てくれた記者の方までも！）歓声を上げていました。

この、焦点のあった位置に牛乳パックを合わせて、コピー用紙をフィルム代わりにカメラにセットして露光させると、撮影することができます。アイロンを使って現像すると、世界一枚だけの写真の完成！お天気のいい日に、おうちで是非やってみてくださいね。

そこで、つきいちアート4月では、“光”を使って写真を撮ることができる「手作りカメラを作ってみよう！」を行ないました。

普段、普通に生活していると“光”を意識することはあまりないかもしれません。しかし、よく考えてみると、暗闇では何も見えませんし、“光”があるからこそ、私たちは物を見る事が出来るんだと気づきます。

今回は、そんな“光”を使ってコピー用紙を露光させ、写真を撮影！…という予定だったのですが、あいにくのお天気であまり光量がなかったため、手作りカメラを作ってカメラの仕組みを知った後、コピー用紙に物をのせてライトで照らして露光させる「フォトグラム」に挑戦していただきました。



外の風景が逆さに見える！

今回は、お天気の関係で撮影は見送って、「フォトグラム」を行うことになりましたので、次はその説明を聞いて、さっそくチャレンジ！

コピーアートペーパーに思い思いの物を、デザインするように配置していきます。どんな配置にするか決定したところで、ライトを当てて露光させます。ライトも熱をもって熱くなるので気を付けて…

コピーアートペーパーが白っぽくなってきたら、露光した証拠です。アイロンを使って、現像してみます！

ゆっくりアイロンをかけると、裏からでも配置した物の影が写っているのがわかります。わくわくしながらめくると…！世界に一つだけの作品の完成です！！思いもよらない形が写っていたり、想像以上に素敵な作品に、参加者の皆様も素敵な笑顔を浮かべていました。

最後に、出来上がった「フォトグラム」の作品を並べて鑑賞会も行いました。自分の作品とはまた違った良さのある他の参加者の方の作品に、皆様感心されていました。

美術館スタッフも、次々に出来上がる素敵な作品に、わくわくさせていただきました！ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



ライトで照らします…実験室みたいな会議室



アイロンをかけると現像できます



ステキな作品がたくさんできました



感想も発表してくれました！